


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23 年 3 月 3 | 日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
石川県 社会福祉法人あさひ会による水熱源式高効率ヒートポンプを利用した温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	社会福祉法人あさひ会(シャカイクシホウジンアサヒカイ)		
住所	石川県小松市安宅町ル1番地28		
代表者氏名	森田 孝文	代表者役職	理事長
担当者氏名	糠川 一英	担当者 所属部署・役職	特別養護老人ホームあ たかの郷・事務長
担当者 E-mail	hasegawa@atakanosato.com	担当者電話番号	0761-24-8705
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名			
プロジェクト参加者名	株式会社カナイワ		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	社会福祉法人あさひ会(シャカイクシホウジンアサヒカイ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	ペリージョンソンレジストラー クリーンディベロップメントメカニズム株式会社		

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報	
プロジェクト概要 <sup>2</sup>	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b></p> <p><b>【目的】</b>・灯油ボイラーから既存の井戸（地下水）利用型の地中熱を熱源とする全電気式の水冷式のヒートポンプシステムに置き換えることにより、CO<sub>2</sub>排出量の低減とエネルギー消費量の低減を図ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の設備（井戸）の有効活用による省エネの促進。</li> </ul> <p><b>【内容】</b>・給湯に係わるボイラー(定格熱出力 349kW)から地下水利用型の地中熱を熱源とする高効率ヒートポンプシステム(最大負荷 148kW)に置き換える。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所は北陸電力からの受電により電気を使用しており、敷地外への熱供給はない。</li> <li>・プロジェクト実施前は給湯用ボイラーのエネルギー源は化石燃料であり、実施後は水熱源式ヒートポンプで電力をエネルギー源とする。地下水を熱源とするヒートポンプであり、ヒートポンプにより空調と給湯を行うため、熱回収は行わない。</li> </ul> <p>設備投資金額と削減見込み金額における投資回収年数は 68.6 年であり、採算性が低いといえる。また、補助金を考慮した場合においても 45.7 年となり、採算性は低い。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に該当しない</li> </ul> <p><b>【採用技術】</b></p> <p>水熱源式高効率ヒートポンプ(ゼネラルヒートポンプ工業株式会社) COP:2.66</p> <p><b>【モニタリング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定済電力計により把握</li> </ul> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b></p> <p>全て準拠する</p> <p><b>【モニタリング体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの入力・記録・測定（職員）</li> <li>・データの確証・算定担当者（事務長）</li> <li>・データの確証・算定責任者（施設長）</li> </ul> <p><b>【QA / QC 体制】</b></p> <p>(1) 教育訓練</p> <p>排出削減量算定責任者は、モニタリングや点検等の書類を保管する職員に対して、</p>

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC体制等に関することを2ページ以内で具体的に記述してください。

	<p>年 1 回程度、モニタリングの方法や効率的なヒートポンプの運転方法等について周知する。</p> <p>(2) 情報の保管 あたかの郷の職員がデータの入力・記録・測定をし、施設内にて保管をする。</p> <p>(3) データの確認 あたかの郷の事務長と職員は月 1 回のデータ確認を行う。</p> <p>(4) 内部監査 排出削減量算定責任者は年 1 回データの確認や整合性の監査を行う。</p> <p>(5) 測定機器の維持・管理 なし。(北陸電力が設置するメーターのため、北陸電力が維持・管理を行う。)</p>						
プロジェクト実施場所	特別養護老人ホームあたかの郷 石川県小松市安宅町ル 1 番地 2 8						
<方法論 R001・R003 のみ> プロジェクト対象面積	該当なし						
プロジェクト期間	2011 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日 (15 年 0 ヶ月)						
クレジット期間	2011 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日						
プロジェクト計画開始 届提出日	2011 年 2 月 1 日						
妥当性確認終了日	2011 年 3 月 30 日						
想定削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>				57	57	114
適用モニタリング方法 ガイドライン	<u>モニタリング方法ガイドライン Ver.2.4</u> <u>妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2</u>						
適用方法論	方法論番号	JEAM 019 ver. 1.2					
	方法論名称	ヒートポンプの導入					
<b>ダブルカウントの防止措置</b>							
ダブルカウントの防止 の措置を講ずる事業 者	プロジェクト代表事業者と同一					印	
公的な報告・公表制 度（判明している公 的制度）	特になし						

<sup>3</sup> 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

自主的な報告・公表 対象(対象となるホー ムページ、環境報告 書等)	特になし
<b>備考欄</b>	

以上